

会 議 録

会議の名称	第18期東村山市社会教育委員会議（第9回）				
開催日時	平成22年4月22日（木）午後6時00分～7時30分				
開催場所	東村山市役所いきいきプラザ4階 教育委員会室				
出席者 及び欠席者	<p>出席者： （委員）神谷・桑原・島崎・土田・當間・森・吉井・吉満 敬称略</p> <p>（市事務局）社会教育課長 神山・生涯学習係主任 野沢・生涯学習係 主事 野崎</p> <p>欠席者：（委員）小山 敬称略</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	1名
会議次第	<p>1．あいさつ</p> <p>2．報告事項 （1）東京都市町村社会教育委員連絡協議会（以下、都市社連協という）定期総会について</p> <p>3．協議事項 （1）今期研究テーマについて （2）第4次総合計画について</p> <p>4．その他 （1）第11回会議日程について</p>				
問い合わせ先	<p>教育部社会教育課生涯学習係 担当者名 神山・野沢・野崎 電話番号 042-393-5111（内線3513） ファックス番号 042-397-5431</p>				
会 議 経 過					
<p>1．あいさつ 議長、神山課長よりあいさつ</p> <p>2．報告事項 （1）都市社連協定期総会（4月17日（土）開催）について 議長 東久留米市生涯学習センターで開催された。21年度収支決算報告、22年度事業計画について協議された。交流大会、関東甲信越静研究大会については、ぜひ出席できるよう各委員に事前にスケジュールの調整をしていただきたい。</p>					

3. 協議事項

(1) 今期研究テーマについて

議長

これまでの会議の中で、市内で開催されている社会教育関連事業について委員が現場に足を運んで調査すべきであるという意見が出ているのを受け、「調査・質問シート」の原案を作成した。これについてご意見を伺いたい。

A委員

委員が現場に足を運ぶことは、社会教育の現状を知るのにとっても効果的である。しかし、委員によって調査の視点が異なるといけないので、共通認識を持ってもらうためにシートを基盤に調査を行うのがよいと思う。

B委員

年度初めから事業が開始されることが多い。事業にかかわりのある総会にも足を運んだらどうか。

C委員

総会については、会場の都合等もあって受け入れていただくのが難しいのではないかと。自由に見学できる行事等に参加して現状を目にした方がよいと思う。

D委員

委員が現状を知った上で、今後、地域の社会教育について手助けをするために調査を行うことを関係者に理解していただく必要があると思う。

E委員

他機関との連携も考えて調査をしたらどうか。

副議長

調査の範囲が地元に限られると調査結果や意見等に偏りができるのではないかと。地元に限らず、事前に関連団体を探して直接調査依頼をしたほうがよいのではないかと。

F委員

関連団体を探すためにはコーディネーターの協力が必要不可欠だろう。

議長

調査については、事務局に対象事業（平成22年9月30日まで）の情報を提供していただき、その情報に基づいて委員が分担して事業の現場に足を運び、シートの項目についてまとめる手法をとりたい。

(2) 第4次総合計画について

議長

第4次総合計画について社会教育委員会議や青少年委員の会議での意見が総合計画審議会にあまり反映されていないという意見があった。多角的な施策が計画に反映されるよう、当会議で意見を集約していきたいと思う。市民参加、社会教育の今後進むべき方向、社会教育施設全般、社会教育の活性化、公民館、文化財関連、体育関連、図書館について意見を投げかけていきたいと思う。原案を作成したので、次回までに補足すべき事項等を各自でまとめていただき、会議で発表していただきたい。

4．その他

(1) 第11回会議日程について

第11回会議 平成22年6月25日(金)午後7時～ 教育委員会室
全委員の承認により上記日程で開催することが決定

5．閉会